

会議の開催結果について

- 1 会議名 令和5年度 第3回 上尾市立中学校部活動地域移行
推進協議会
- 2 会議日時 令和6年2月14日(水)
午前・午後 10時00分 から
- 3 開催場所 上尾市青少年センター 会議室2・3
- 4 会議の議題
(1) 令和5年度事業等の進捗状況について
(2) 地域クラブ活動モデル事業の進捗について
(3) 上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針(案)について
- 5 公開・非公開の別 公開
- 6 非公開の理由 無し
- 7 傍聴者数 0人
- 9 問い合わせ先 上尾市教育委員会学校教育部指導課
(担当課) 048-775-9672

会 議 録

会議の名称	令和5年度 第3回 上尾市立中学校部活動地域移行推進協議会	
開催日時	令和6年2月14日(水) 午前10時00分から正午まで	
開催場所	上尾市青少年センター 会議室2・3	
議長(委員長・会長)氏名	只隈 伸也	
出席者(委員)氏名	萩原 康彦 鹿井 ゆかり 洞派 英樹 根本 和彦 佐藤 和成 都木 雅之 宮内 礼子	
欠席者(委員)氏名		
事務局(庶務担当)	武田 直美 白石 恵子 栗原 雅之 玉造 勇輝 馬場 志保 遠藤 誉幸	
会 議 事 項	1 議 題	2 会議結果
	1 報告 (1) 令和5年度事業等の進捗状況について (2) 地域クラブ活動モデル事業の進捗について 2 協議 上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針 (案) について	別紙のとおり
議事の経過	別紙のとおり	傍聴者数 0 名
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度 第3回 上尾市立中学校部活動地域移行推進協議会資料 ・埼玉県新たな地域クラブ活動実証事業に係る地域ミーティング発表資料 ・上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針(案) ・上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針(案)(概要版) 	
<p>議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。</p> <p style="text-align: center;">令和6年 2月12日</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;"> <p>議長(委員長・会長)の署名</p> <p>議長に代わる者の署名 (議長が欠けたときのみ)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <hr style="width: 100%;"/> <hr style="width: 100%;"/> </div> </div>		

議事の経過

発言者	議題・発言内容・決定事項
指導課長	<p>これより、令和5年度 第3回 上尾市立中学校部活動地域移行推進協議会を開催いたします。</p> <p>私は、本日の司会を務めます、指導課長の武田でございます。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>上尾市立中学校部活動地域移行推進協議会条例により、本協議会は、委員等の過半数が出席をしているため、開催させていただきます。</p> <p>それでは、以後の進行につきましては、只限委員長をお願いいたします。</p>
只限委員長	<p>令和5年度 第3回 上尾市立中学校部活動地域移行推進協議会は、審議会等の会議の公開に関する指針の3会議の公開により、公開するものとなりますが、委員の皆様には御賛同いただけますでしょうか。</p> <p>では公開の協議会とさせていただきます。事務局にお尋ねします。本日、傍聴の申し出はございますか。</p>
事務局	<p>本日の傍聴の申し出はありません。</p>
只限委員長	<p>それでは協議に移らせていただきます。</p> <p>まず、報告（1）令和5年度事業等の進捗状況について、事務局より報告願います。</p>
事務局	<p>それでは、報告（1）令和5年度事業等の進捗状況について、説明いたします。</p> <p>資料1を御覧ください。令和5年度事業等について、一部今後の予定も含まれますが、一覧とさせていただきました。</p> <p>なお、各地域クラブ活動モデル事業の実施、上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針の策定に向けた協議等については、この後の報告（2）及び協議で取り扱いますので、ここでは省略させていただきます。</p> <p>最初に「上尾市立中学校部活動地域移行推進協議会の開催について」です。</p> <p>今年度は、3回にわたり、令和5年度事業等や各種モデル事業について、また「上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針（案）」に関する協議をそれぞれ実施いたしました。</p> <p>続いて、「上尾市立中学校アッピ一部活動コーチ」及び「上尾市立中学校アッピ一部活動サポーター」についてです。令和5年度より、西中学校及び大谷中学校を除く、市内9中学校に対し、教員に代わる指導や単独で</p>

の大会引率等が可能な部活動指導員を「アッピー部活動コーチ」として配置し、教員の負担軽減と当該部活動に所属する生徒の充実した活動に資する取組を推進いたしました。

また、技術的指導が困難な顧問のサポートを行うための外部指導者を、「アッピー部活動サポーター」として、市内全中学校に対し、計45名を配置し、当該部活動における技術的指導に係る支援を実施しております。

続いて、先進地視察・各種研修会への参加についてです。まず、先進地視察ですが、令和5年8月に、群馬県吉岡町立吉岡中学校における「YAMADAホールディングスとの連携」による事業を視察し、「クロストレーニング」を軸とした地域クラブ活動実施の有効性や、企業等の協賛及びスポンサー収入を運営資金に充てること等について学ばせていただきました。

各種研修会への参加につきましては、埼玉県主催、埼玉県教育委員会主催、埼玉県スポーツ協会主催等の研修会に参加し、県内各地域における地域クラブ活動実施に向けた取組等に関する事例等を収集いたしました。特に埼玉県教育委員会「地域クラブ活動シンポジウム」等では、令和5年度におけるスポーツ庁の実証事業に係る取組を実施した自治体、団体等の発表を拝聴し、教職員の兼職兼業に係ること、統括コーディネーターの必要性等について学ばせていただいております。

最後に、令和6年2月以降の事業予定から、主な事業を3つ抽出して説明いたします。

最初に「部活動地域移行推進事業に関する教職員説明動画の配信」についてです。市内中学校に勤務する教職員が、今後の休日の学校部活動の地域クラブ活動への移行に関する見通しをもてるよう、部活動改革に関する国の動向や、上尾市における検討状況及び「上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針（案）」等について説明いたします。休日の学校部活動の地域クラブ活動への移行予定時期や、地域クラブでの指導を希望する際の兼職兼業手続きの方法等について、スポーツ庁の動画等を用いながら丁寧に説明することで、各教職員が本事業に対する理解を深められるようにしたいと考えております。

続いて、「部活動地域移行推進事業に関する保護者用概要版リーフレット」の配布についてです。市内小・中学校に在籍する児童生徒の保護者の皆様が、本市における部活動地域移行推進事業に関する理解を深められるよう、部活動改革に関する国及び県の動向について紹介するリーフレットを作成し、定期的に配布することといたしました。第1号につきましては、今年度中に発行する予定です。

最後に「第1回 上尾市地域クラブ活動ミーティング」の開催についてです。上尾市における新たな地域クラブ活動の整備に際し、地域の皆様か

	<p>ら御意見を伺う機会を設け、「上尾市の実態に応じた最適な地域クラブ活動の実施」について話し合う地域ミーティングを開催いたします。第1回につきましては、令和6年3月17日（日）に、上尾公民館にて実施することといたしました。上尾市スポーツ協会、上尾市スポーツ少年団、上尾市スポーツ推進委員連絡協議会、上尾市民吹奏楽団、上尾市PTA連合会に参加を依頼し、令和5年度上尾市における新たな地域クラブ活動実証事業に係る事例紹介や、「地域の実態に応じた地域クラブ活動の在り方について」をテーマとした、参会者同士の意見交換を実施したいと考えております。</p> <p>報告（1）につきましては以上となります。</p>
<p>只隈委員長</p>	<p>ありがとうございました。ただいまの説明について、御意見、御質問等はありませんか。</p>
<p>萩原 副委員長</p>	<p>上尾市立中学校アッピー部活動コーチやアッピー部活動サポーターについて、取組の意図については理解できます。しかし、現実的には指導者の確保は難しいのだろうと推察します。特に平日の部活動に携わるのは非常に難しいと感じます。スポーツ少年団等の活動を見ていると、指導者の多くは、フルタイムで勤務している方がほとんどです。故に、私が所属する陸上競技協会でも、平日に指導ができる方がいないというのが現状です。</p>
<p>只隈委員長</p>	<p>平日も含めた部活動指導員となると、なかなかハードルは高いと私も感じます。</p> <p>鹿井委員にお尋ねします。文化部活動については、どのようにお感じになりますか。</p>
<p>鹿井委員</p>	<p>吹奏楽部についてお話しします。私が所属する上尾市民吹奏楽団で活動している方も、フルタイムで働いている方が多い状況です。部活動との関わりを考えるとアッピー部活動サポーターのように技術的な支援をすることはできても、アッピー部活動コーチのように、部活動の顧問となるのは難しいと思います。吹奏楽の場合、指導者の確保手段として一番確実なのは、楽器店などの事業者と一緒に連携してやっていくような形が良いのではないかと思います。吹奏楽の指導には、手間と時間がかかります。もし、楽団員の方が学校に関わることができるとすると、お仕事の一線を退いた方に限られると考えます。</p>
<p>只隈委員長</p>	<p>これまでの協議会でも、文化部活動については、必要に応じて民間企業</p>

	<p>等との連携が必要であるという話が出ています。貴重な御意見、ありがとうございます。</p> <p>次に、部活動地域移行推進事業に関する教職員説明動画を配信するということと、保護者用の部活動地域移行推進事業に関する概要版リーフレットを配布するということですが、他の委員の皆様より、このことについて御意見等はございますか。</p>
根本委員	<p>教職員用説明動画の配信については、やっていただけると大変ありがたいと思います。教職員の中には、部活動の指導をこれからも続けたい教職員、続けたくない教職員がいますので、続けたくない教職員が指導に従事する必要がなくなり、指導に従事したい教職員ができることに対して、見通しをもてるようになることは素晴らしいと思います。</p>
只隈委員長	<p>昨年度実施していただいている教職員対象アンケートの結果からも、兼職兼業を希望して、地域クラブ活動に従事したい教職員が少ないという結果も出ています。他にはいかがでしょうか。</p>
洞派委員	<p>私も、教職員用説明動画の配信はしていただきたいです。また、保護者用リーフレットを定期的に配布いただくこともとても良いと思います。教職員も保護者も、部活動地域移行推進事業について、知っている人、知らない人の差が大きいと感じます。周知することはとても大事なことなのではないでしょうか。</p>
只隈委員長	<p>これまで上尾市は、複数の地域クラブ活動実証事業に取り組むなど、先進的に進められてきているとは思いますが、まだまだ本事業について、周知するという点では、不足しているという状況は私も感じています。</p> <p>他にはいかがでしょうか。</p>
宮内委員	<p>保護者の立場から、リーフレットを作成いただき、配布してくださるとの話は大変ありがたいです。保護者は、教職員の皆さん以上に、本事業について知らない人が多いと思います。ただ「部活動の地域移行」という言葉だけは、テレビのニュース等で目にする機会が増えてきました。この機会にリーフレットを作成して、配布いただけることは、大変良いことだと思います。</p> <p>また、現在小学校6年生の児童が、高校の入試を迎えるタイミングで、制度が変わると聞いています。部活動に関する記載についても、これまでの様式とは異なるかもしれません。このようなことはまだ検討段階のこともあるかもしれませんが、決定次第、部活動改革に関する定期的なリーフ</p>

	<p>レットの中で、入れていただくことも良いと思います。リーフレットがあれば、その内容をもとに、子供と接することもできると思います。</p>
<p>只隈委員長</p>	<p>ありがとうございます。教職員の理解だけでなく、保護者の理解も大変重要であると感じます。</p> <p>上尾市地域クラブ活動ミーティングについてはいかがでしょうか。</p>
<p>都木委員</p>	<p>本事業において、地域との関わりを築くことは、最も大事なところだと思います。今後の地域クラブ活動の受け皿として期待している団体様が、どのようなお考えをもっているかということは、ぜひ聞いてみたいところだと思います。また、スポーツと文化芸術活動では、考え方も異なると思います。多様な意見をいろいろと吸い上げていくことは、大変重要なことだと思います。</p>
<p>佐藤委員</p>	<p>地域の方々や保護者の皆様の御意見は、多角的に本事業を検討するという点で、大変良いことだと思います。但し、教職員が地域、保護者の皆様以上に、本事業について理解が不足しているという状況はあってはならないことだと感じますので、順番として、教職員用説明動画の配信を先にさせていただけると良いです。</p>
<p>只隈委員長</p>	<p>萩原副委員長にお尋ねします。上尾市地域クラブ活動ミーティングに期待することはありますか。</p>
<p>萩原副委員長</p>	<p>地域クラブ活動ミーティングについては、大変意義深いことだと思います。多様な分野、団体の方々、保護者の方々が、部活動の地域移行についてどのようなお考えをおもちで、どのようなことを期待しているのか、意見交換していくことが重要ですし、どこかの立場の方々の意見だけが突出してもなかなかうまくはいかないことだと思います。このような地域クラブ活動ミーティングは、定期的で開催すると良いと思います。</p>
<p>鹿井委員</p>	<p>地域クラブ活動ミーティングについて、いくつかの団体等にしばって、参加者を集めていくという話がありました。今後参加対象を広げていくことも重要であると思います。</p>
<p>只隈委員長</p>	<p>第1回のミーティングを踏まえ、もし可能であれば、できる限り多くの方々に現状を知っていただく、現状の課題に対して御意見を賜うことはとても重要なことだと思います。是非御検討いただければと思います。</p> <p>それでは次に、報告（2）地域クラブ活動モデル事業の進捗状況について</p>

<p>事務局</p>	<p>て、事務局より説明願います。</p> <p>報告（２）地域クラブ活動モデル事業の進捗状況について、説明いたします。</p> <p>趣旨については、前回の協議会でも説明させていただいたとおりとなります。</p> <p>最初に、埼玉上尾メディックスとの連携についてです。別冊資料①を御覧ください。</p> <p>本実証事業においては、市内全中学校を対象とした連携希望調査を実施した上で、希望した市内２中学校での実施を決定しております。期間は、上尾中学校が、１０月から１月まで、南中学校が９月から１１月までとなります。回数はそれぞれ１０回となります。休日の学校部活動に対し、埼玉上尾メディックスから指導者を派遣する形で実施いたしました。なお派遣した指導者については、元バレーボール日本代表で、実業団チームやジュニア世代への指導経験が豊富な 松田 明彦 埼玉上尾メディックス普及担当となります。参加費につきましては、１か月につき１，０００円とし、３か月分の計３，０００円を徴収いたしました。傷害保険については、日本スポーツ振興センターと同等の保険を埼玉上尾メディックスが用意しております。なお、原則として、顧問の教職員については、本事業に指導者として参加しておりません。</p> <p>また、休日の学校部活動をそのまま地域クラブ活動にスライドしていますので、埼玉上尾メディックス指導者と学校部活動の顧問教諭との連携を密に行うため、Google が学校向けに開発したWeb サービスである「Google Classroom」でクラスを開設し、その中で情報交換を実施いたしました。</p> <p>さらに、埼玉上尾メディックスが、地域クラブ活動の実施主体である強みを生かし、参加生徒の多様な経験機会の創出として、埼玉上尾メディックスホームゲームへの招待や試合中のボールリトリバーとしての参加機会をいただいております。</p> <p>続いて、成果と課題について説明いたします。</p> <p>まず、参加率については、両校合わせて９５．４％となります。このことについては、各学校において、事前に保護者説明会を実施し、事業の概要や趣旨等を丁寧に説明したことが、高い参加率の獲得につながったと考えております。</p> <p>南中学校を対象に実施したアンケート調査では、「技術が向上した」「松田さんのコーチングが分かりやすかった」と感じている生徒が多数おりました。</p> <p>参加費については、１，０００円は、「適正な額である」、「もう少し低</p>
------------	--

く設定してほしい」という声が多く、できるだけ低価格での参加費設定を望んでいることが分かりました。

次に課題でございますが、南中学校における関係教職員に対するアンケートから、「運営全般のマネジメントなどについて負担を感じた」等の声をいただいております。

また、トラブルもいくつか発生しましたので、今後の課題とさせていただく予定です。

続いて、上尾市陸上競技協会との連携についてです。資料2を御覧ください。

上尾市陸上競技協会との連携によるモデル事業では、市内中学校に対し、陸上教室開催のチラシを配布すること等を通して、開催を周知し、令和5年9月から、月1回のペースで開催いたしました。

参加費については、1回目を100円、2回目以降を300円と設定しております。

資料には、効果検証の一環として実施いたしましたアンケート結果の一部を掲載しております。最初に、参加生徒に対するアンケート調査では、技能面の向上、指導者のコーチング等について、多くの参加者より好評を得ることができました。自由記述による感想を見ますと、「学校では教えてもらえないことを学べた」、「他校の生徒と関わるのが楽しい」、「自主練習のポイントを学べた」等、多様な感想をいただきました。一方、「前回とコーチが変わったため、少し分かりにくかった部分があった」などの記載もありました。

保護者に対するアンケート調査では、部活動地域移行推進事業のこと、費用負担のことについてお伺いをしましたが、部活動が地域に移行されることについては、概ね好意的に受け止めていらっしゃる方が多いこと、費用については、2,000円程度を望む声が多いことを把握させていただきました。

最後に、総合型地域スポーツクラブ サンワ×エナジークラブとの連携についてです。

総合型地域スポーツクラブ「サンワ×エナジークラブ」は、上尾市上平中央に本部を構えるソフトテニスとバスケットボールを主力種目とする総合型地域スポーツクラブとなります。

この度、連携を希望する中学校2校の女子ソフトテニス部に対し、埼玉上尾メディックスとの連携による実証事業と同様、サンワ×エナジークラブから指導者を派遣する形で実証事業を実施することとしました。

期間につきましては、南中学校が12月から3月、大石南中学校が1月

から3月までとなります。参加費につきましては、1回につき500円とし、参加する都度、参加希望の生徒より徴収することとしました。

なお、本事業についても、指導者として教員は参加しておりません。また、本事業につきましても、事前に保護者説明会を実施し、事業に関する説明会等を実施しております。

現在も実施している実証事業のため、効果検証に係るアンケート調査等を行えておりませんが、これまでに、サンワ×エナジークラブの指導者による大会への引率や、複数の指導者によるグループ別指導の実施、サンワ×エナジークラブのつながりから、実業団の監督等をお招きした特別講座の開催等、多様な検証を実施しております。

以上が、今年度実施いたしました実証事業となります。今後、各連携先団体と事業についての振り返りを行い、令和6年度以降の展開について検討・協議していきたいと考えております。

報告(2)については以上でございます。

只隈委員長

御報告ありがとうございます。多様な実証事業を実施したことで、多くの成果と課題が出たとのこと。今後の地域クラブ活動を創設、展開するに当たり、大変素晴らしい取組になったと思います。

それでは、まず「上尾市陸協陸上競技教室」について、今回も主催した萩原副委員長、洞派委員から御意見をいただけますでしょうか。

萩原
副委員長

主に課題についてお話しできればと思います。まず参加者についてですが、第1回から徐々に減っているのが現状です。平均すると、33名ほどの参加者となりますが、参加者の属性を見ると、実は上尾市陸上競技協会の中学部の生徒さんの参加が非常に多く、それ以外の生徒さんの参加が少ないという課題があります。

また、9月に第1回を実施した際には、熱中症のような症状を訴える生徒さんがおりましたが、その生徒さんの普段の体調や、体力がどのくらいあるのかということが事前に把握できていなかったため、非常に心配したというケースがありました。医療従事者の協力が欲しいと感じました。

さらに、会場と指導者の確保にも苦労しました。指導者については、特に長距離走の練習を希望する生徒さんに対しては、いくつかのレベルを設けてあげないといけないと感じ、指導者の人数確保が重要だと感じました。

加えて、指導に当たったコーチの中で、「陸上競技に限らず、中学校の現場では、部活動の地域移行に関しての必要性をどのくらい感じているのだろうか。」という話が出ています。上尾市、上尾市陸上競技協会の取組

	<p>が、顧問の先生方に理解されているのかという声も挙がっています。事業の趣旨が現場サイドに認識されていないことが、参加生徒の増加につながるのかもしれませんが。</p> <p>本事業の実施を通して、今後、上尾市として、部活動の地域移行を推進するためには、市が率先して学校や団体に働きかけをすることは必要だと思います。また中学校の現場サイドに対して、しっかりと部活動地域移行推進事業について認識をしていただくことが重要だと思います。</p> <p>活動をしていくには、指導者、活動場所、練習用具の確保は絶対条件になります。今回の事業では、上尾ジュニア陸上クラブの時間を譲り受け、用具は同じように上尾ジュニア陸上クラブや指導者のもっている用具を借りて活動を行いました。種目によっては、生徒間の競技力の差が大きいため、レベル別の指導が必要になるケースもあります。その場合、十分な数の指導者の確保も必要です。</p> <p>陸上競技教室については、令和6年3月までを予定しています。次年度以降の展開については、指導に当たった者で会議をもち、理事会や総会で話し合っていきたいと考えています。</p>
洞派委員	<p>課題もありましたが、大きな成果も得られたと思っています。最も大きな成果であり、今後に向けて可能性を感じたことは、学校では1～2人の顧問が、全ての競技について指導することはできませんが、陸上競技教室では、全ての種目について指導者がいるので、それぞれの種目の専門的なことを学べるという点です。</p> <p>課題があるのは当然のことです。初めは上手くいかないことも仕方ないのではと思います。子供たちは、学校への所属感が強く、自分の学校で頑張るんだという考えを強くもっているという声も聞かれます。まずはその垣根をクリアすることが重要だと思いますし、そのためには、中学校体育連盟と陸上競技協会が連携することも必要なのではないかと思います。</p>
只隈委員長	<p>このような教室の開催について、他の委員さんはどのようにお感じになりますか。</p>
根本委員	<p>良いことだと思います。子供たちのためになることであれば、競技団体と協力していくべきだと思います。当然、連携がうまくいかないと逆効果になってしまう可能性も非常に高いと思うので、最初は連携することが重要であると感じます。</p> <p>但し、休日と平日の指導者が変わるということは、子供たちに混乱を与えてしまうかもしれません。休日の指導者が平日も指導できるのであれば喜ばしいことですが、そうならなかったときに、休日と平日の指導者が違</p>

<p>佐藤委員</p>	<p>うまま進んでいくことについて対策が必要であると思います。</p> <p>萩原副委員長がおっしゃるとおり、陸上競技教室がどのような目的で行われるのか、各中学校の陸上部顧問の中でしっかり共有できていなかったと思います。顧問は、本教室について紹介はしていますが、積極的な働きかけまではしていなかったと思います。</p> <p>また、子供たちの意識の高さの違いも考慮する必要があると思います。陸上競技に親しみたいという生徒にとっては、学校部活動だけで十分だと考える生徒も多いと思います。但し、生徒たちに、教室開催の意図などをもっと伝えることができれば、生徒も参加したいという気持ちになるのではないかと思います。</p>
<p>只隈委員長</p>	<p>地域、学校間での目的共有が不足しているという点が、現時点での大きな課題ですね。</p> <p>埼玉上尾メディックスとの連携や総合型地域スポーツクラブ「サンワ×エナジークラブ」との連携も含めて、今後の実証事業に関する展開はどのように考えているのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>実証事業については、継続を軸に検討してまいりたいと考えていますが、課題に対する手立てをまずはしっかり検討していきたいと考えています。特に、地域クラブ活動を運営する団体と学校との連携については、大きな課題であると考えています。</p>
<p>只隈委員長</p>	<p>課題が出たことは前向きに考えていただき、出た課題を1つ1つ解決できるようにすることが重要であるということですね。他にいかがでしょうか。</p>
<p>宮内委員</p>	<p>私の娘は、「もし現役なら、参加したかった。」と話していました。先程佐藤委員からもありましたが、参加したいと思う生徒がいれば、学校部活動で十分と思う生徒もいると思います。また、保護者の送迎の都合など、いろいろなことが関係してくると難しい部分があるようにも感じますが、参加すれば、すごく良い体験機会でもあると思いますので、是非ポジティブな部分を前面に出していただければと思います。</p>
<p>鹿井委員</p>	<p>陸上競技協会さんが行っていたようなことを、市内で吹奏楽連盟などが主催をして、吹奏楽教室をやっています。行っていることは、生徒に技術指導をして、また学校にお返しするということです。但し、指導者は、学校の教職員です。実は、吹奏楽連盟に所属しているのは、ほとんどが学校</p>

	<p>で、運営にも学校の教職員が関わっています。また、吹奏楽には大きなコンテストが2つほどあり、そのうちの1つが、いろいろな楽器をやっている生徒を集めて1つの発表の形にし、他の学校等と出来栄を競い合うものとなります。地域で楽器の技術を磨いてきても、それを束ねる人が、最後には必要になるということです。最終的には、どうしても顧問の先生が指揮をして指導し、束ねることになります。そうすると、なかなか平日の活動だけでは難しくなると思います。土日に先生方が指導し、仕上げで発表するというのが吹奏楽の現状です。外部の指導者が楽器ごとに技術の向上を支援しても、コンテストのときには学校が関わらざるを得ない状況があります。</p>
都木委員	<p>私も吹奏楽部の顧問をやっていましたが、高校などで開催される楽器別講習会を利用して、生徒が年一回程度参加できるようにしていました。私も役員で準備をする側でした。その際は、楽器の運搬など、到底子供たちだけではできないこともあります。</p>
只隈委員長	<p>大変貴重な御意見をありがとうございました。 それでは、次の協議に移ります。上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針（案）について、事務局より御説明お願いいたします。</p>
事務局	<p>それでは「上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針（案）」について、資料3を御覧ください。</p> <p>説明に入る前に、素案の段階から表題を変更していることを御報告いたします。素案の段階では、表題を「上尾市における地域クラブ活動実施に係る基本方針（素案）」としておりましたが、案への改訂を行うにあたり、「上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針（案）」と表題の変更を行いました。御確認をお願いいたします。</p> <p>作成にあたりまして、（1）スポーツ庁及び文化庁「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」等を踏まえたこと。（2）本市における地域クラブ活動実施に係る目標を定めた上で、方針を作成し、「上尾市における地域クラブ活動実施の基本構想」についても明記し、地域クラブ活動実施の実像が見える化できるようにしたこと。（3）第4章で、現時点で想定しているスケジュールについて明記し、今後の進捗に見通しがもてるようにしていること。（4）基本方針（素案）の段階で、上尾市中学校長会及び上尾市中学校体育連盟等へのヒアリング及び意見照会を経た上で、上尾市教育委員会（令和6年1月定例会）での協議を行っていること。（5）ポイントをまとめた「概要版リーフレ</p>

ット」を併せて作成していることを申し添えます。

それでは、別冊資料②「上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針（案）」を御覧ください。

目次については、4章立て、素案からの変更はありません。

第1章は、「上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針の策定にあたり」とし、文部科学省のガイドラインを参考に、「学校部活動の意義」「少子化の進展による学校部活動への影響」「地域との連携・協働の必要性」「国の動向」「上尾市における部活動の地域移行に向けた検討状況」「上尾市立中学校部活動地域移行推進協議会の設置」と「どのように、どんな形態で、どのように推進するのか」を示す基本方針についての検討の実施について記載してございます。本基本方針策定の趣旨等では、本基本方針の位置付け、部活動の地域移行が目指すもの、学校部活動の教育的意義等の継承・発展等について記載してございます。

続いて、「第2章 計画策定の背景」についてです。「1 少子化及びニーズの多様化」につきましては、上尾市人口総数と生徒数の推移のグラフを用い、生徒数が緩やかに減少に転じている状況があること。ニーズの多様化につきましては、部活動数には、ほぼ変化がないものの、少子化による学級数の減少により、教員数も減少することで、今後部活動種が増加する見込みはないこと。令和5年5月現在、最も部活動数が多い中学校と最も少ない中学校では、11もの設置数の差があり、スポーツ・文化芸術活動機会の格差は大きいこと。令和5年2月に実施した市内小学生（小学校5年生と6年生）を対象とした「将来の学校部活動に関するアンケート調査」では、中学校に入学して取り組みたい種目の上位に、バドミントンやダンス、パソコンや水泳など、全校的に設置がない部活動や、トランポリンやプログラミングなど、学校部活動にない種目にも人気が集まっていること。市内中学校の部活動においては、生徒数減少の影響もあり、新規種目の設置ができず、生徒の多様なニーズに応え得る種目数を確保することは困難であることを述べてございます。

「2 指導者の確保と育成」では、日本スポーツ協会「競技大会を支える人材とその活用状況に関する調査報告書」に記載の課題とともに、教員は、人事異動により顧問を務める部活動種目が変わること等の課題があること。令和4年度に教職員を対象に実施したアンケート調査の結果から、「現在の学校教育における部活動について課題がある」と回答した86.2%の教員のうち、「専門的な指導ができない」ことを課題に挙げた教員が66.1%いること。様々な大会やコンクール等で教員がその運営スタ

ップや審判等を担っているのが現状で、大会やコンクール等の運営においても、指導者同様、教員に頼ることのない人材確保や育成が必要であること等を記載いたしました。

併せて、「アッピー部活動コーチ」、「アッピー部活動サポーター」の配置状況についても記載しております。

「3 これまでの部活動の位置付け」では、学習指導要領における教科外活動の扱いの変化を記載し、時代に合わせて部活動の姿が変化してきたことを記載しております。

そして、本章の最後には、「教員の働き方改革と部活動」と題し、教員の部活動指導に係る負担が増加している状況にあること。令和4年度に教職員を対象に実施したアンケート調査の結果から、顧問をしている教員の約8割が部活動を「負担に感じる」「やや感じる」と回答し、その約8割以上が校務と部活動の両立が困難であることをその理由に挙げている状況があること。豊かな学びの充実が求められる中、授業の準備時間や研修の時間を十分に確保できないことが大きな課題であること等を記載し、背景をまとめてございます。

続いて、「第3章 上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針」です。

「1 目標及び地域クラブの定義」として、「目標」「本目標の実現のために」「AGEO地域クラブの定義」を強調することといたしました。目標は、「すべての生徒が、地域において、自己のニーズに応じたスポーツ・文化芸術活動に親しむことができるようにすること」、そして、本目標の実現のため、「上尾市は、上尾市立中学校における休日の学校部活動の実施主体を地域とするための組織である『AGEO地域クラブ』を創設すること」を記載しております。「AGEO地域クラブの定義」としては、「上尾市内を主たる活動場所として、『上尾市立中学校に係る部活動の方針』に基づく活動を行っていること等が上尾市教育委員会によって公認されたクラブチームと定義付けいたしました。また、同頁では「本事業の推進が、将来的にすべての市民が、生涯にわたって、地域で多様なスポーツ・文化芸術活動に親しむことができる持続可能な体制となることが期待できると考える」と述べております。

次に、「2 基本方針」を御確認ください。方針は5つとなります。

方針1は、「生徒が、生涯にわたって、スポーツ・文化芸術活動に親しむことができる環境を積極的に整備する。」としました。AGEO地域クラブでは、既存の学校部活動の種目に限らず、生徒の多様なニーズに応じた「多種目」「多志向」「インクルーシブ」な環境を整えます。また中学生年代に限定せず、世代を超えた人とのつながりが生まれる活動環境を整え

ることにも配慮します。さらに参加費額の設定に当たっては、地元企業等からの運営面での支援を募り、生徒の参加の支障とならない参加費額の設定を目指します。

方針2は、「生徒が、スポーツ・文化芸術活動に継続的に取り組むことができる強固な体制を整備する。」としました。生徒の活動等に対する安心と安全を担保するため、管理方法の整備や指導者の資質向上を図るとともに、指導者や運営スタッフを持続的に確保できる仕組みを整え、経済的に安定した運営を行います。

方針3は、「生徒・保護者・教職員・地域指導者等、それぞれの思いを反映させた地域クラブ活動とする。」です。定期的に本事業に対する多様な意見聴取の機会を設け、各地域や種目ごとの最適な地域クラブ活動としていきます。

方針4は、「地域クラブ活動への移行の時期については、学校部活動の現状や種目の特性等を考慮し、種目ごとに無理のないスケジュールにおいて推進する。」としました。全地域、全種目の休日の学校部活動を、一斉に地域クラブ活動に移行するのではなく、中学校体育連盟主催大会の参加規程や種目の特性等を踏まえ、種目ごとに無理のないスケジュールを組み、モデル事業等を丁寧に実施し、検証及び議論を重ねた上での移行を目指すこととします。また、地域クラブ立ち上げの際には、教職員や保護者、生徒に対する説明を丁寧に行います。

方針5は、「上尾市における地域クラブ活動実施に係る情報を、市民に対し、広く周知する。」としました。地域説明会や講演会等を実施し、本基本方針等について広く周知を行います。ホームページも積極的に活用する予定です。

続いて、「3 基本構想」についてです。まず上尾市では、令和8年8月より、上尾市立中学校の休日の学校部活動を地域クラブ活動に移行することを目標とします。移行に当たり、地域クラブ活動と学校部活動の連携が必要な場合においては、ICTを活用するなどした情報等の引き継ぎを丁寧に行う予定です。なお、休日の学校部活動について、令和8年度学校総合体育大会終了までは、顧問教員が希望する場合、学校部活動として、休日に活動することは妨げません。それまでは、基本的に並走するイメージで考えております。

また、AGEO地域クラブの立ち上げに当たり、まずは、各スポーツ及び文化芸術活動を統括する団体を募集することとします。各スポーツ活動を統括する団体については、スポーツ協会、スポーツ協会に加盟する競技団体、総合型地域スポーツクラブを中心に募集したいと考えています。各文化芸術活動を統括する団体については、市民団体等を中心に募集しますが、必要に応じて民間企業との連携も検討します。そして、各スポーツ及

び文化芸術活動を統括する団体は、各種目の地域クラブ活動を運営します。また、複数の中学校の生徒を参加対象とした合同での地域クラブ活動の実施も可とする予定です。

なお、市は、各スポーツ及び文化芸術活動を統括する団体の代表者を集めた「AGEO地域クラブ代表者会議」を設置することで、運営事業者としてのコーディネーター業務及び管理を行います。

地域クラブ活動に参加する場合、参加を希望する生徒は参加費を支払うこととします。但し、市は、参加を希望する全ての生徒が、地域クラブに参加できるよう、参加費の負担軽減に資する取組等を推進し、経済的に困窮する生徒の地域クラブ活動への参加費用の支援等の取組を推進します。AGEO地域クラブでは、生徒のニーズに応じた充実した活動の実施や、教員の働き方改革の推進、生涯学習の推進を図り、新しい価値の創出に向けた取組を進めます。

続いて、「5 実施主体とAGEO地域クラブへの生徒の参加」についてです。活動拠点については、合同活動、拠点方式の考えを採用し、各種目、1拠点から整備し、参加者数の増加状況に応じて、最終的には、市内を4つの地域に分けて拠点を設けることを目指します。

また、AGEO地域クラブでは、認定制度を取り入れることを予定しています。認定条件は、主に3つです。「生徒の安心・安全に関わること」「指導の専門性に関わること」「持続可能な指導体制に関わること」となります。具体的な認定方式については、今後検討してまいります。

指導者については、現行の「上尾市立中学校に係る部活動の方針」等を遵守し、専門性の高い指導ができる者を指導者とします。なお、各スポーツ・文化芸術団体を統括する団体には、適切な研修を行い、その団体の公認指導者として認定すること等を求めます。また、教員が兼職兼業を希望し、地域クラブ活動での指導を望んだ場合は、文部科学省等が示している「公立学校の教師等が地域クラブ活動に従事する場合の兼職兼業についての手引き」に基づき、必要な手続きを行えば、地域クラブでの指導を可能とします。

生徒は、自身が居住する地域クラブへの参加を基本としますが、ニーズに合った地域クラブが無い場合、保護者の了解の下、自身が居住しない地域クラブに参加することができるようにいたします。

大会等への参加につきましては、上尾市中学校体育連盟の指示に従いながら、連携を密に取ってまいります。

なお、本基本方針では、休日の学校部活動の地域クラブへの移行方針について主に述べていますが、平日の学校部活動に関する改革も不可欠であると考え、(1) 活動時間の適正化、(2) 指導体制の見直し、(3) 部活動数の精選とそれに伴う活動機会の確保、(4) 誰もが参加しやすい運動・

文化部活動を目指して、(5)複数の活動を経験できる活動日数や時間への配慮についての改善に取り組み、部活動の地域移行を推進することとします。但し、平日の学校部活動の地域クラブ活動への移行等に係る本格的な検討は、令和8年度より開始いたします。

最後に、「組織」を御覧ください。上尾市教育委員会の役割、上尾市立中学校部活動地域移行推進協議会の役割、AGEO地域クラブ代表者会議の役割、各種目の地域クラブ活動を統括する団体の役割についてそれぞれ記載いたしました。

最後に第4章 スケジュールを御覧ください。現時点で想定できる検討事項等について記載しております。令和6年度には、AGEO地域クラブコーディネーターを配置し、実証事業を行いながら、運営事業者としての整備充実等を目指す予定です。

別冊資料③につきましては、本基本方針の概要版リーフレットとなります。

それでは資料3を御覧ください。今後のスケジュールについて説明します。年度当初、令和6年3月に予定していた本基本方針に関する策定期間ですが、教職員や保護者、地域での意見交換を経た上で策定を目指すことが望ましいと考え、令和6年4月以降に策定期間をずらすことといたしました。策定に当たっては、上尾市教育委員会定例会による審議・決議を経ることとなります。本日、協議会委員の皆様からの御意見を賜り、案を最終案にした上で、教育委員会に提出いたします。

説明は以上となります。

只隈委員長

ありがとうございました。基本方針として大綱を示していただいたと思います。素案に比べ、整理され、素晴らしい案になっていると感じます。但し、実践するには、ハードルはかなり高いものになると思います。アナウンスの仕方も重要かと思います。

それでは、「上尾市における部活動の地域以降に向けた基本方針（案）」御意見をお願いいたします。

萩原
副委員長

「平日の部活動だけで良い」という生徒もいる一方、普段の部活動に加え、休日はさらに「専門性の高い指導を受けて大会に参加したい」という生徒もいると思います。中学校体育連盟の大会は平日に行っていますが、その他の大会は、休日に行う大会もあるので、そこをどうするかということは気になるところです。基本方針（案）については、問題ないと思いま

	<p>すが、今後の検討の中で、その点についても協議できたらと思います。また、基本方針（案）の内容について、関係各所にしっかりアナウンスをすることが重要かと思います。</p>
<p>宮内委員</p>	<p>小学校段階から、地域の方々が指導に入ることを当たり前にするのも重要だと思います。例えば、小学校のクラブ活動に、外部指導者をどんどん入れて、子供たちが地域と関わることに抵抗がなくなるようにするというのも重要かと思います。そうした積み重ねが、部活動を地域クラブに移行した際に、子供たちの戸惑いがなく、スムーズに移行できる要素になるのではないかと思います。</p>
<p>根本委員</p>	<p>基本方針（案）見ると、「すぐに地域移行を行う」というイメージを与えかねないので、教職員に丁寧な説明をしながら、しっかり周知する必要があります。教職員の中には、部活動が地域クラブに移行することで、モチベーションが下がってしまう教員もいると思います。そうすると、普段の子供たちへの指導にも影響が出るのではないかと心配しています。やる気のある教員のやる気をなくさないような丁寧な説明をしていただければと思います。また、働き方改革について、校長としては、非常に重要な視点だと思いますが、我々の仕事の真ん中は、「子供たちのために」です。本基本方針が策定された後も、検討は続けていかなければなりません。子供たちを中心においた検討をしていければと思います。</p>
<p>都木委員</p>	<p>基本方針（案）については、大変素晴らしい案であると感じます。特に意見はありません。先日、新入生保護者会を実施した際に、保護者から、調査書の記載についての質問がありました。保護者や子供たちは、3年間部活動に所属することがとても大事だと思っている方もいらっしゃいます。そうした方々に正しい認識をもってもらいたいという点についても共有を図っていけると、部活動の地域移行もスムーズに行くのではないのでしょうか。また、報告（1）でありました「部活動地域移行推進事業に関する教職員説明動画の配信」はとても良いアイデアだと思います。現場の教職員は、部活動の地域移行についてあまり理解できていないというのが現状だと思います。本当にありがたいです。その中で、部活動の指導を継続したいという教職員と部活動の指導について負担に感じる教職員のどちらも盛り上がるような内容にしていただけると良いと思います。</p>
	<p>佐藤委員</p>
	<p>教職員が理解することが重要だと思います。教職員の理解がないと、子供たちに、本事業の趣旨が落ちていかないと思います。「部活動地域移行推進事業に関する教職員説明動画の配信」に加え、必要に応じて中学校体</p>

	<p>育連盟等で丁寧に説明いただけると幸いです。本基本方針（案）については、AGEO地域クラブに参加しない生徒たちの大会参加についてはどうなるのかと気になりました。</p>
只限委員長	<p>確認をさせてください。上尾市中学校体育連盟主催の大会に出場するには、何か「登録」が必要なのでしょうか。</p>
根本委員	<p>ありません。学校に所属していれば大会に参加できます。</p>
只限委員長	<p>中学校から大会に出ることは問題ないのですね。</p>
根本委員	<p>問題ありません。</p>
只限委員長	<p>事務局から何か補足はありますか。</p>
事務局	<p>AGEO地域クラブをどういう位置付けで創設するのかということについては、今後の検討課題とし、本基本方針（案）では踏み込んだ記載はしていません。</p> <p>懸念点として、学校部活動とAGEO地域クラブとの間で、選手の取り合いになってしまわないかという心配があります。故に、AGEO地域クラブをどういう地域クラブにしていくのかということは次年度以降にしっかり検討していく課題であると考えています。例えば、AGEO地域クラブは、あくまでも練習やスキルアップの場だというような位置付けになれば、選手の取り合いは起こらないと考えますが、そうすると、結局試合をさせるのは教職員の役割ということになり、負担軽減につながらないという意見もあると思います。今後しっかり検討していきたいと思います。</p>
只限委員長	<p>それでは、他に御意見はありますか。</p>
洞派委員	<p>基本方針（案）についての説明、ありがとうございました。教員の働き方改革など、いろいろな課題がある中で、この基本方針（案）の作成は、課題解決につながる素晴らしい取組だと思います。他市よりも先んじてやっていることです。次年度以降も、迷いながらも進められれば良いと思います。</p>
鹿井委員	<p>本日参加して、やはり保護者、生徒、教職員、それから関わる団体さんとの間での意思疎通がとても難しく、しかしながらそこが一番大事なところだと感じました。啓蒙のリーフレットや教職員向けの動画、ミーティン</p>

	<p>グの開催など、多様な取組を行いながら、最適な形が見付けられれば良いと思います。</p>
<p>只限委員長</p>	<p>たくさんの御意見、ありがとうございました。</p> <p>それでは、皆さんからたくさんの御意見をいただきましたが、本協議会としては、事務局に本協議会で出た御意見をできる限り反映していただいた上で、最終案にしていただき、教育委員会にて御審議いただくということで、御異議ありませんか。</p>
<p>全委員</p>	<p>異議はありません。</p>
<p>只限委員長</p>	<p>それでは、上尾市立中学校部活動地域移行推進協議会として、全会一致で本基本方針（案）を、教育委員会に提出いただくことを承認します。</p> <p>事務局にお尋ねします。その他の連絡事項はありますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>その他の報告といたしまして、1点お願いいたします。</p> <p>今年度、上尾市教育委員会指導課において、上尾市役所庁内における政策企画提案制度に参加し、部活動地域移行推進事業に係る文化芸術活動の受け皿として、令和6年度より、「英語によるコミュニケーションに特化した地域クラブ・イングリッシュサロン」を設置することを目指しています。</p> <p>「イングリッシュサロン」では、『『生きた英語』に触れる』ことをテーマとしています。活動内容の中心は「中学校の英語学習を発展させた表現活動」とし、将来的に、海外とのオンライン交流を通して「ディスカッション」や「ディベート」の実施、「スピーチ」や「英語劇」等の発表など、「英語『を』学ぶ」のではなく、「英語『で』学ぶ」空間を作り上げる予定です。実施日は土曜日の午前中とし、月に3回、上尾市立公民館等を会場に実施する計画を立てているところです。また、オンライン環境を整え、自宅からの参加も可能にする計画としています。実施につきましては、令和6年度当初予算が可決された場合となります。本事業は、本市における文化芸術に係る初めてのケースであり、将来的に子供たちの活動の場が、地域に移った際に必要な準備や安定的な運営ノウハウの構築等につながれると考えております。また、イングリッシュサロンを設立することで、文化芸術に係る新たな地域クラブ活動の多様な選択肢の一つとなり、生徒が自己の興味関心に合わせた活動を選択できる環境整備につながればと考えているところです。詳細につきましては、次回の協議会等で進捗を報告させていただきたいと考えております。</p>

只隈委員長	<p>その他の報告は以上です。</p> <p>委員の皆様、スムーズな進行に御協力いただきまして、ありがとうございました。</p> <p>今後も最適な部活動の地域移行を進めていくには、様々な課題をクリアしていかなければいけないと思います。しかしながら、このことは、教職員のため、そして子供たちのためになることだと思えます。これからも上尾市における最適な地域クラブ活動への移行を果たすため、委員の皆様の御協力を賜ればと思います。</p> <p>それでは、司会を事務局にお返しします。</p>
-------	---